



ジャパン・イン・マレーシア

1. はじめに

近年、日本人の、海外移住先として最も人気のある国がマレーシア。日本からは多くの観光客も訪れています。一方、マレーシア人にとって、日本は大好きな国の一つ。アジア有数の都市である首都クアラルンプールでは、マレーシアの人々が日々触れている日本を垣間見ることができます。本稿では、マレーシアの中で見た「日本」を紹介したいと思います。

2. ジャパンブランド

クアラルンプールには、日本とは比較にならない規模の巨大ショッピングモールが乱立しています。どのモールにも、必ずと言っていいほど日本ブランドが入っています。電化製品はもちろんのこと、衣類、雑貨、さらには、コミック、アニメ、ゲームといったソフトコンテンツまで。マレーシア人の友人と連載中のコミックの話で盛り上がりましたが、私より詳しいので驚きました。

「TOKYO STREET」と呼ばれる日本ブランド専用のエリアを備えたモールもあります。(写真2)。マレーシアを訪れた日本人はもちろん、日本好きなマレーシア人が日本発のアイテムや日本食に触れています。

100円ショップも多数進出しています。但し、マレーシアでは、固定価格に統一されていないわけではないので、どちらかと言えば、激安ショップといったところ。日本で販売している商品をそのまま持ち込んでいる場合も多く、日本では100円で手に入るような雑貨が300円、なんてこともあります。店名に「JAPAN」や「TOKYO」といった添字がある店もありますが、その全てが日本発かというところ…。



【写真1】日本でお馴染みのブランドが集うモール



【写真2】トウキョウ・ストリート



【写真3】日本で人気のあるラーメン店のKL支店の商品



【写真4】クアラルンプール市内の回転寿司レストラン

3. 日本食

寿司やラーメンに代表される日本食は大人気。市内には多数の回転寿司屋があります。マレーシア人が握った生のお寿司をマレーシア人が食す様は、SUSHIが受け入れられていることを感じさせます。システムは日本と変わりません。色分けされたお皿には、色別の価格が設定されています。最も安いもので1皿約3リンギッド（約90円）。

日本でお馴染みのラーメン屋も進出しています。どのお店も、その味は日本で食べるのとほとんど変わりません。日本人に慣れ親しんだ味は、マレーシア人にも受け入れられているようです。但し、お箸を使うのは苦手なようで、フォークとスプーンで食べている人が結構いました。

うどんやそばも大人気。マレーシア料理にもヌードルがありますし、麺類は安定した人気を誇っています。

4. 結び

ショッピングモールを歩いていると、中国や韓国の影響も強く感じます。当然ながら日本が一人勝ちというわけではありません。物価は日本の1/3程度。毎日使うものは価格

を抑えて、嗜好品には品質を求める、といったように上手く使い分けているのかもしれませんが。

著者紹介

木本 大介（きもと・だいすけ）

日本弁理士、GIP東京所属。1977年神奈川県生まれ。専門は通信、電気、ソフトウェア。2005年弁理士試験合格。企業知財部3年、特許事務所7年の経験を経て2013年7月より現職。モットーは、「正しいモノより楽しいモノを」。

<http://www.giplaw-tokyo.co.jp/jp/>